

# 田奈・奈良中学校第二方面校 開校準備委員会ニュース

第1号 平成20年4月11日

第1回開校準備委員会 開催

- 平成20年3月27日(木)10時から
- 田奈小学校図書館にて

田奈中学校及び奈良中学校の過密化を解消し生徒の教育環境向上を図るため、地域やPTA代表の方々、学校関係者からなる「田奈・奈良中学校第二方面校開校準備委員会」を設置し、新校の設置について検討していきます。

第1回開校準備委員会の説明・協議内容

- 1 田奈中学校及び奈良中学校の状況
- 2 田奈・奈良中第二方面校の概要
- 3 通学区域変更の考え方

開校準備委員会では、今後、次の事項について検討していきます。

- ①「学校名」に関する事
- ②「通学区域」に関する事
- ③「通学安全確保」に関する事

## 1 田奈中学校及び奈良中学校の状況

学校名		平成19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年
田奈中 (*29CR)	生徒数	995	1,041	1,127	1,164	1,204	1,209	1,228
	学級数	26	27	29	30	31	32	33
奈良中 (*25CR)	生徒数	891	935	964	995	1,038	1,012	999
	学級数	24	24	25	26	27	26	26

※( )内の教室数は、内部転用を含む保有普通教室数。  
※本来の教室数  
田奈中 27  
奈良中 19

平成19年度義務教育人口推計では、田奈中学校が平成23年度以降31学級以上の過大規模校となり、奈良中学校も21年度以降25学級以上の大規模校になると見込んでおり、両校で教室不足が発生する見込みです。

## 2 学校規模の適正化方策等

横浜市教育委員会が平成15年12月に策定した、「横浜市立小・中学校の規模及び配置の適正化並びに通学区域制度の見直しに関する基本方針」に基づき、田奈中学校の過大規模化及び奈良中学校の大規模化を解消するため、青葉区あかね台二丁目の学校予定地に中学校を新設することで対応します。

### 基本方針 (抜粋)

(1) 適正規模の考え方

- 適正規模校 小中学校とも12～24学級
- 小規模校 11学級以下(小学校)  
8学級以下(中学校)
- 大規模校 小中学校とも25～30学級
- 過大規模校 小中学校とも31学級以上

(2) 過大規模校の問題点

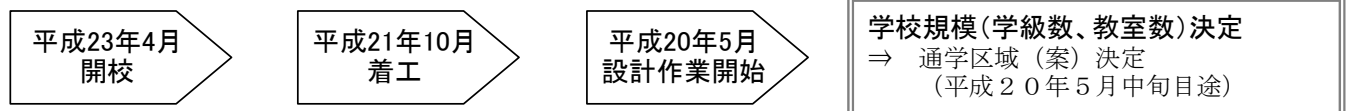
- 31学級以上の規模では、児童生徒一人ひとりの個性や行動を把握し、児童生徒指導を充実させるには大規模過ぎる。
- 1つの学校としての一体感を保ち、十分な共通理解を図る面で大規模過ぎる。
- 特別教室、体育館、プール等の施設を使用する授業の割り当てが難しくなる。

(3) 学校規模の適正化方策等

- ア 学校規模の適正化方策(過大規模校対策部分抜粋)  
児童生徒数の増加により、教室不足が生じる等の場合には、通学区域の変更や増改築などの必要な対策を検討する。
  - イ 規模の平準化  
小規模校と大規模校が隣接している地域などについては、通学区域の変更や弾力化等の手法により規模の適正化を検討する。
- 〈分離新設を検討する条件は次のとおりとする〉  
学級数31学級以上の過大規模の状態が続き、通学区域の変更等によってもその解消を図ることが困難な場合。

### 3 田奈・奈良中学校第二方面校の概要

- 設置場所 : 青葉区あかね台二丁目8番地1、2及び3  
 開校予定年月日 : 平成23年4月1日  
 敷地面積 : 22,750㎡(中学校予定地としては21,350㎡程度を利用予定)  
 新設校の施設等の概要 : 当初建設の施設(予定)  
     普通教室 : 未定  
                     (新校の通学区域設定後でない、普通学級数が決まらないため)  
     個別支援教室 : 3  
     その他 : 各種特別教室、多目的室、室内運動場、プール、格技場、部室  
 併設施設 : 地域ケアプラザ  
 新設校整備スケジュール(予定) : 下記のとおり



※ 23年4月の開校のスケジュールから逆算すると、20年5月中旬頃までに学校規模を決定する必要があります。

### 4 通学区域変更の考え方

- 田奈中学校及び奈良中学校の規模の適正化が目的であるため、両校の現行の通学区域の分割を前提とする。
- 変更時期は、第二方面校開校の平成23年4月とし、第二方面校の生徒は、第二方面校の通学区域内の中学1年生から3年生までの生徒とする。

※ 通学区域(案)設定に当たっての留意点  
 第二方面校開校後の田奈中及び奈良中が、  
 (1) 学校の適正規模、保有普通教室数から「24クラス以下」となること。  
 (2) 少人数指導用の教室など、教育活動に必要なスペースが確保されていること。

#### ■ 義務教育人口推計

##### 学区案 《学区》奈良の丘小学区+田奈小学区(①+②)

学校名	年度	平成19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年
第二方面校	生徒数					669	652	622
	学級数					18	18	17
田奈中 (*29CR)	1年	343	360	398	393	298	303	297
	2年	336	344	373	398	280	298	303
	3年	316	337	356	373	294	280	298
	合計生徒数	995	1,041	1,127	1,164	872	881	898
	学級数	26	27	29	30	23	23	24
奈良中 (*25CR)	生徒数	891	935	964	995	704	690	707
	学級数	24	24	25	26	19	19	20

【コメント】 田奈中学校及び奈良中学校は25年度まで適正規模校の範囲内で推移  
第二方面校も適正規模校の範囲内で推移

##### 参考 《学区》奈良の丘小学区+田奈小学区(①+②)、《特調》田奈小学区②

※田奈小学区全域に特別調整通学区域を設定し、半数が第二方面校に就学した場合の推計値

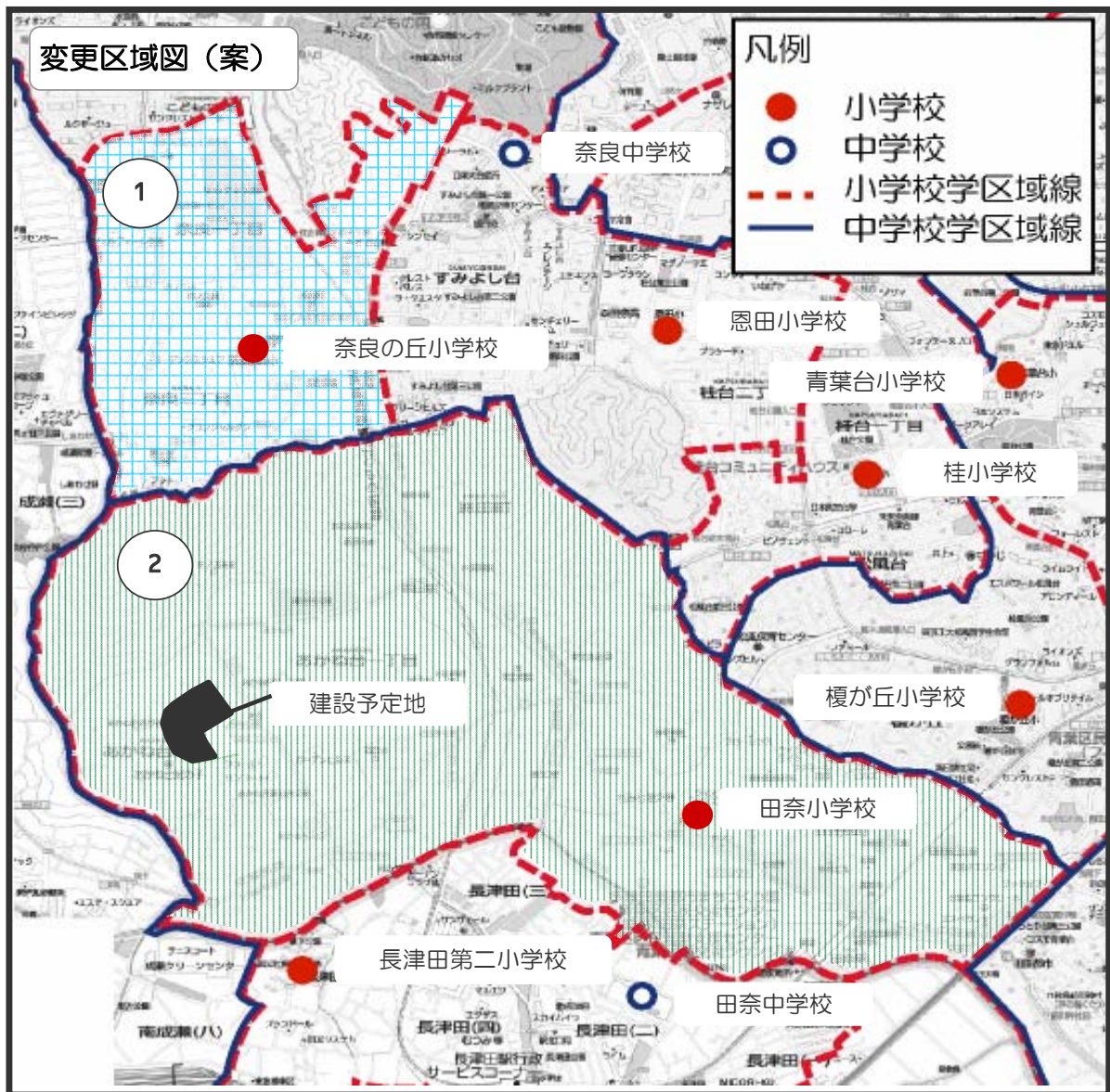
学校名	年度	平成19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年
第二方面校	生徒数					517	504	472
	学級数					15	14	13
田奈中 (*29CR)	生徒数	995	1,041	1,127	1,164	1,032	1,037	1,056
	学級数	26	27	29	30	27	27	27

※奈良中は学区案と同じ

【コメント】 田奈中学校は25年まで25学級以上の大規模状態が継続し、適正規模校にならない  
第二方面校及び奈良中学校は適正規模校の範囲内で推移

##### ※特別調整通学区域

就学先の学校の選択肢が増える制度で、設定区域内の保護者は、指定された中学校と受入校として指定された中学校のいずれかを希望により選択できます。通常、学校の受入能力に余裕がある場合に設定しています。



## 5 委員会での主なご意見・ご質問

- ◇ 地元とのふれあいや職業意識を高める教育を行ううえで、地域の人が学校で活動する拠点となる場所が必要。新しい学校をつくるのであれば、それを踏まえた教室配置等を考えて欲しい。  
→ 第二方面校の整備の中で、学校と地域の連携の場として地域交流室の整備を行っていきます。
- ◇ 在校生が学年途中で第二方面校に転校することについて、部活動や進学はどうなるのか不安だ。在校生がそのまま田奈中や奈良中に残ることはできないのか。もし残ることが難しいとしても、学年途中で転校する子ども達に対して十分な対応をしてもらいたい。  
→ 第二方面校を建設する目的は、田奈中と奈良中の過密化を解消することなので、在校生が残ることで過密化が解消されないと本来の目的が達成できなくなってしまいます。第二方面校への編入については、不安を感じる点もあるかと思いますが、第二方面校開校までの間に、田奈中、奈良中の両校ならびに教育委員会事務局で十分な調整を行い、学習面はもとより生徒指導や部活動等についても極力支障がでないように計画的に調整を行っていきます。何かありましたら、学校又は教育委員会事務局までご相談ください。
- ◇ 奈良の丘小学校区にはすぐ目の前が奈良中学校の地域がある。もう少し保護者の意見をとりいれて欲しい。  
→ 今回いただいた意見をもとに、学区案と推計値を作成し、次回の委員会でお示します。





## 6 開校準備委員会の委員・事務局連絡先等について

開校準備委員会の委員は、次の方々をお願いしています。

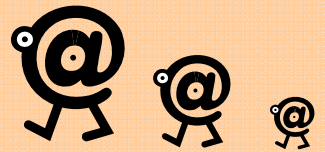
### 田奈・奈良中学校第二方面校開校準備委員会委員(敬称略)

委員長	鈴木 敏弘	(恩田連合自治会会長)			
副委員長	野川 正義	(奈良町連合自治会会長)			
委員	諏訪 充	(あかね台一丁目自治会会長)	大野 耕治	(あおば山の手台グラン・ジャルダン自治会会長)	
	荻子 博史	(あかね台二丁目自治会会長)	関根 宏一	(奈良一丁目自治会会長)	
	松村 欣一	(井戸久保自治会会長)	土志田 睦夫	(奈良二丁目自治会会長)	
	森 武二	(内田自治会会長)	高田 一	(奈良三丁目自治会会長)	
	瀬下 勝弘	(大谷戸自治会会長)	児川 肇	(奈良四丁目自治会会長)	
	川本 季男	(東急たなドエリング自治会会長)			
	井上 太市	(中恩田自治会会長)	岸 光男	(あさやま自治会会長)	
	宮田 豊吉	(西谷戸自治会会長)	井上 敏正	(下長津田自治会会長)	
	鈴木 正弘	(馬場自治会会長)	石森 康之	(東向地団地自治会会長)	
	山口 満	(東村自治会会長)	井上 実	(長津田東向地自治会会長)	
	鈴木 康正	(堀之内自治会会長)	井上 俊之助	(御幸通り自治会会長・ 長津田自治連合会会長)	
	石川 裕子	(いぶき野小学校PTA会長)			
	井口 由華	(恩田小学校PTA会長)			
	山田 典子	(桂小学校PTA会長)			
	田首 奈穂子	(田奈小学校PTA会長)			
	杉崎 茂	(長津田小学校PTA副会長)			
	辻本 仁志	(長津田第二小学校PTA会長)			
	吉田 滋子	(奈良小学校学級副委員長)			
	鈴木 文子	(奈良の丘小学校PTA会長)			
	山下 博基	(田奈中学校PTA会長)			
	寺澤 奈穂	(奈良中学校PTA会長)			
	長田 いち子	(いぶき野小学校校長)			
	谷川 克	(恩田小学校校長)			
	小松 規久夫	(桂小学校校長)			
	谷村 英俊	(田奈小学校校長)			
	鴨志田 一利	(長津田小学校校長)			
	野村 啓子	(長津田第二小学校校長)			
	五味 篤	(奈良小学校校長)			
	近藤 憲良	(奈良の丘小学校校長)			
	金子 清一	(田奈中学校校長)			
	木村 長利	(奈良中学校校長)			



横浜市教育委員会の基本方針、田奈・奈良中学校第二方面校開校準備委員会の検討内容等はホームページでもご覧いただけます。

- ・基本方針  
[http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/gakku/gakku\\_houshin.pdf](http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/gakku/gakku_houshin.pdf)
- ・田奈・奈良中学校第二方面校開校準備委員会  
<http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/>



田奈・奈良中学校第二方面校開校準備委員会は、常に皆さまからのご意見をいただいております。FAXかEメールにて、事務局までご連絡ください。

\* 田奈・奈良中学校第二方面校開校準備委員会事務局\*  
横浜市教育委員会事務局 学校計画課  
FAX: 045-651-1417  
Eメール: [ky-tanaradaini@city.yokohama.jp](mailto:ky-tanaradaini@city.yokohama.jp)  
TEL: 045-671-3319



発行: 田奈・奈良中学校第二方面校開校準備委員会事務局